

将来を見据えた資産配分を考える

Raku Yomi

楽読(ラクヨミ)

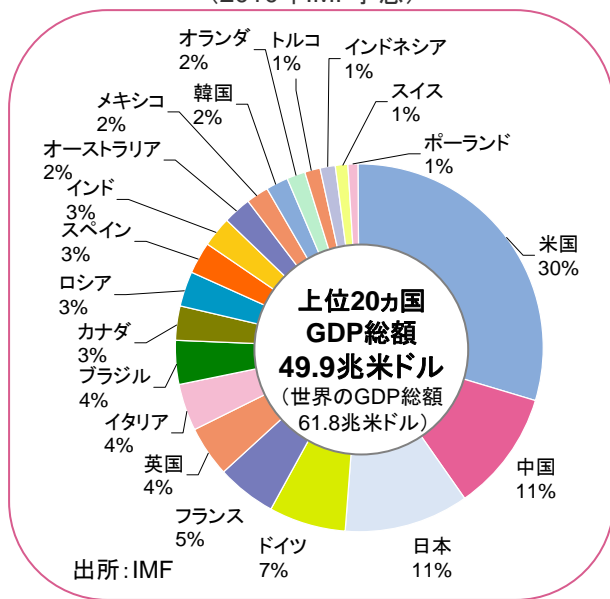
nikko am
fund academy

世界経済全体の発展に伴って拡大すると期待される株式市場を積極的に捉えるひとつの投資方法として、将来の各国のGDP見通しに基づいて国の資産配分などを決定する方法があると考えられます。

下図では、2010年におけるGDP上位20カ国を投資対象とし、GDPの構成比に応じて、それらの国の代表的な株価指数に2000年から投資※1したと仮定した場合のパフォーマンスです。その時々の世界の株式時価総額の構成比に基づいて算出される世界株価指数※2を大きく上回る結果となりました。

2000年からの10年は、先進国に比べ、新興国の世界のGDPに占める割合が拡大しました。相対的に高い成長を遂げている新興国では、海外からの投資の増加や資本市場の発達、企業業績の拡大などが相対的に大きな株価上昇につながったと考えられます。そのため、現状のGDP構成比や株式時価総額構成比などを参考にするだけでなく、この先10年、あるいは20年と、高い経済成長が続くと見込まれる国々に重きを置くなど、将来の成長見通しに基づいて、資産配分を見直して行くことも重要になるのかもしれない。

GDP上位20カ国および20カ国内の国別構成比 (2010年IMF予想)

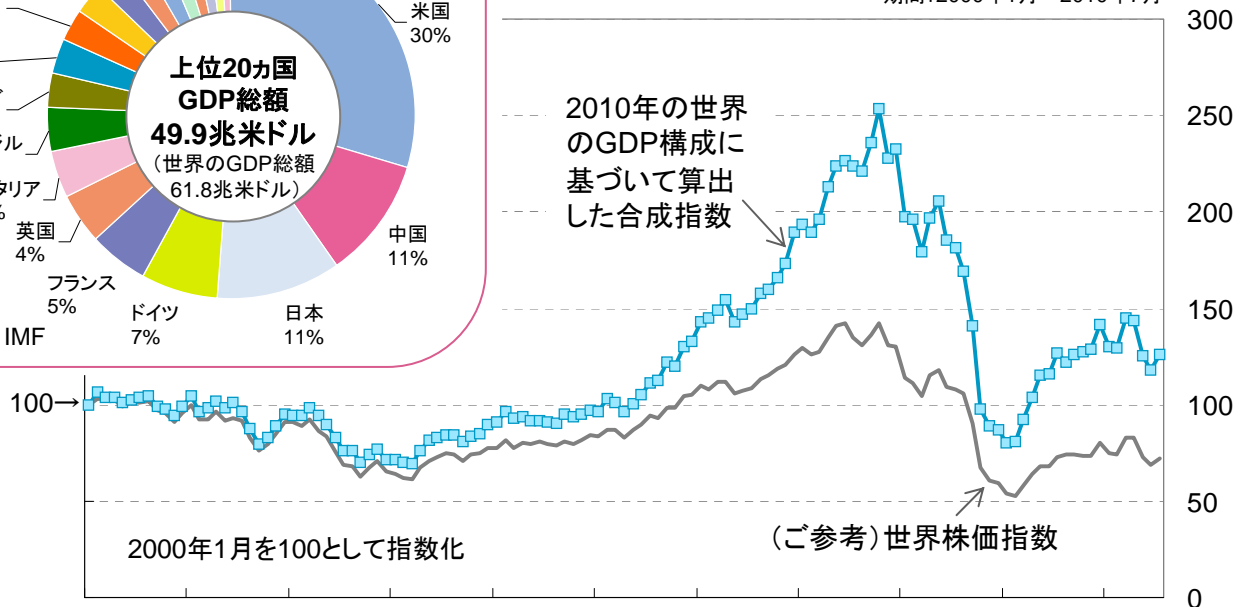


※1 2010年時点のGDP上位20カ国を抽出し、それらの代表的な株価指数を用いて算出した合成指数です。20カ国内の割合(左図参照)をもとに指数化しています。ただし、実際の投資にあたっては、株式市場の規模や流動性などの問題から、GDP構成比通りに投資を行なうことが出来るわけではありません。

※2 世界株価指数は、MSCI AC ワールド・インデックスを用いています。上記合成指数とともに、日興アセットマネジメントが円換算しています。

合成指数と世界株価指数の推移(円ベース)

期間: 2000年1月~2010年7月



2000年 2001年 2002年 2003年 2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年

※上記グラフは過去のシミュレーションであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。